

講義名	英語 A (総合)			授業形態	
担当教員	藤岡 千伊奈	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

高校までに学習した英語内容の復習を含め、実用的かつ基本的な英語力の向上を目指します。また、国際感覚を養うために、自ら積極的に英語を使ってコミュニケーションをはかろうとする態度を育成します。共通教材については、原則CALL教室でパソコンを使いながらオンラインで練習を行います。

授業後半では、英語圏の言語文化と日本の言語文化を比較しながらコミュニケーション能力を身に付けるテキストの前半を用いて、初級から中級の英会話力を習得することを目指します。主にスピーキング(会話文の作成も含む)とリスニングの演習を中心に授業を行います。ユニットごとに様々な状況での決まり文句・表現・異文化コミュニケーションのコツを学び、ペアでの会話タスクを毎回行います。授業は、講義ではなく、学生による授業参加型の授業なので積極的に授業に挑むように。皆さんの前向きな姿勢・努力は成績に反映されます。

到達目標

共通教材: 基本語彙と文法事項の確認と定着を目指します。

- 個別教材:
- 様々な状況に応じた英会話の語彙や決まり文句を習得できるようになる。
 - スムーズな会話するための会話のコツを習得できるようになる。
 - 初級レベルの会話であれば英語で話すことに抵抗がなくなることができるようになる。
 - 会話の背景にある英語圏の文化知識を高めることができるようになる。

提出課題

オンライン、または紙ベースでの課題提出を求めることがあります。
授業内で適宜指示します。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

共通教材: 翌週の小テスト問題について授業内で解説します。
授業内で全体的にまたは個別に解説します。

評価の基準

出席状況、授業中の活動状況、小テスト、および提出課題などの平常点を50%とします。共通教材期末テストの得点を25%とします。定期試験の得点を25%とします。
*5回休んだ時(途中退室も含め)、自動的に不可が決定し、学期末試験は受けられない。

履修にあたっての注意・助言他

授業には積極的に参加してください。英語の基礎力(語彙および文法)を高めるよう努力してください。
* 宿題(授業不可)は必ず出席すること。
その他、重要な詳細を一回目の授業で説明するので、遅れないように必ず出席するように。
* 遅刻をする学生は、その日「欠席」となるので注意すること。
* 新しい教科書を購入してください(古本不可)。
* キャンパスカードは常時確認すること。

教科書

.Keep Talking (New Edition).	Kazuyo Murata他	桐原書店	1,900円	9784342550027
------------------------------	----------------	------	--------	---------------

参考図書

.なし.				
------	--	--	--	--

その他

必要に応じて授業中に指示します。

授業計画

- Moodle共通教材ガイダンス・授業ガイダンス
- Moodle共通教材Set 1/Unit 1 Hi, is this seat taken?
- Moodle共通教材Set 2/ Moodle Quiz Set 1/Unit 1 Hi, is this seat taken?
- Moodle共通教材Set 3/ Moodle Quiz Set 2/Unit 2 That's a lovely T-shirt.
- Moodle共通教材Set 4/ Moodle Quiz Set 3/Unit 2 That's a lovely T-shirt.
- Moodle共通教材Set 5/ Moodle Quiz Set 4/Unit 3 Pardon?
- Moodle共通教材Set 6/ Moodle Quiz Set 5/Unit 3 Pardon?
- Moodle共通教材Set 7/ Moodle Quiz Set 6/Unit 4 I really enjoyed it!
- Moodle共通教材Set 8/ Moodle Quiz Set 7/Unit 4 I really enjoyed it!
- Moodle共通教材Set 9/ Moodle Quiz Set 8/Unit 5 Is that right?
- Moodle共通教材Set 10/ Moodle Quiz Set 9/Unit 5 Is that right?
- Moodle共通教材Set 11/ Moodle Quiz Set 10/Unit 6 How about you?
- Moodle共通教材Set 12/ Moodle Quiz Set 11/Unit 6 How about you?
- Moodle Quiz Set 12/Unit 7 Thank you so much!
- Moodle共通教材期末テスト/Unit 7 Thank you so much!

* 授業の進捗状況により、授業計画が変更する可能性があります。

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア: PBL(課題解決型学習)		イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ: ディスカッション、ディベート	○	エ: グループワーク
オ: プレゼンテーション		カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)		

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

共通教材: 予習: 次の授業で解説されるセット問題をRyukaポータル上のモデルにアクセスして解く。復習: 授業で解説を聞いた後、次週のクイズ(小テスト)に向けてそのセット問題を復習する。
* 合わせて2時間程度

* 2単位の講義では、「回の講義について4時間の自己学習が必要」ということなので、残りの2時間で、テキストの語彙・表現の予習・復習・会話練習を行う。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

基本語彙と文法事項を定着させることで実用的かつ基礎的な語学力を修得する。また、読解練習を通して海外の社会や文化について学び、基本的な読解と内容理解・情報収集に習熟することにより、卒業時に身につけておくべき読解・能力の基盤につながる。これらの能力は理学部生に求められる音楽界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

LMS(Learning Management System)であるMoodleをコール教室、及び(または)、授業外の自主学習に利用している。双方向授業の実施については、授業中に履修生の解答を適宜加筆修正・解説する。提出課題に直接コメントする。

実務経験の有無及び活用

備考